

<地方行政を読む・埼玉県全般>

!!! 県民不在 我が道を往く !!!

上田知事 エム・テックに異常な肩入れ … 塩川副知事に命じ

「県内建設業者のプロジェクト参画 スキーム (案)」を  
建設業協会へ FAX 送信。

(2015年7月19日)

下記は、本紙が入手したエム・テックがベトナムで契約した「ホーチミン高速道路区間建設工事」に関し、県内建設業者プロジェクト参画を呼びかけるエム・テック作成の文書を塩川副知事が埼玉県建設業協会宛に FAX を送信した違反文書である。

(埼玉) 建設業協会 FAX 番号

From:埼玉県庁 塩川副知事室	To:00488615376	2014/02/18 17:23	#825 P.002/002
------------------	----------------	------------------	----------------

県内建設業者のプロジェクト参画  
スキーム (案)

平成 26 年 2 月 14 日

(株) エム・テック

第一案 工事に JV パートナーとして参画する。

1. 施工監理要員を派遣する。
2. 下請け企業、施工監理要員の現地での宿舎・事務所・諸経費はエムテックで手配・提供する。
3. JV 構成比率に応じて工事を分配。赤字の場合エムテックが負担する。

第二案 施工協力業者として工事に参画する。

1. 一人当たり年間 5 千万円の工事売上を契約する。
2. 派遣技術者の人件費・経費はエムテックが負担する。
3. 契約金額には 5% の利益を含む。

第三案 施工監理要員を派遣・提供する。

1. 協定人件費相当額でエムテックに派遣契約する。
2. 交通費・現地滞在費はエムテックから実費支給する。

第四案 実地研修

1. エムテックは現地滞在費のみを負担する。
2. 派遣技術者の技量に応じて、上記契約に移行する事ができる。

## 施工能力なき不適格業者を

### ベトナムに同行させた上田知事の責任を問う

塩川副知事がエム・テックを代行して(埼)建設業協会へ送った文書は、エム・テックが、契約工事に対応する責任施工能力の欠落を自認する内容となっている。

上田知事の特別な計らいの下に 1000 億円からの大型建設工事をベトナム政府と元請契約したものの、自社での施工監理要員すら準備することができず上田知事に泣きを入れ、県を通して建設業界に重みを付け(埼)建設業協会に持ち掛けたスキーム(案)である。ことにスキーム(案)にある施工監理要員派遣・派遣技術者等、建設業の派遣に関しては建設業法違反・派遣業法などの法令違反の疑いが強い。もちろん、このスキーム(案)に対して県内業者は誰も乗ってはこない。(株)エム・テックがこれまでに工期の遅延や手抜き工事など数々の問題を引き起こして、全国各地の自治体から指名停止という嚴重な処分を受けている不良不適格業者であることを県の業者らは理解しているからだ。

このベトナムとの通商協定に基づく埼玉県企業の進出に力を入れたのは上田知事である。しかし上田知事は、(埼)建設業協会に声も掛けずベトナムとの交流を開始した当初より、エム・テックを埼玉県の代表とする建設業者としてベトナム政府筋に紹介したのだ。2013 年 8 月、上田知事は県内の企業人らと共に「埼玉県アセアン訪問団」を組織してベトナムを訪問しているが、この訪問団は事実上、上田知事が旗を振った(株)エム・テックの営業活動だったのである。

こうした経緯を経て、エム・テックはホーチミン高速道路建設工事・Long Ho 橋建設工事の2件の工事を受注したのであるが、その末路が塩川副知事によるエム・テックの「県内建設業者のプロジェクト参画スキーム(案)」となるのだ。ベトナムの建設事業をエム・テックが独占契約を締結した時点、当該工事はエム・テック一社で貫徹する責任を自覚するべきではなかったのか。

エム・テックはスキーム(案)において当該工事の施工に下請企業を要請しているが、ベトナムにおいてはエム・テックの下請は既に契約の中で、現地での5社が決定している。この契約を見て県内の建設業者は、更に(株)エム・テックとは関わり合いを避けたいと考えているという。(株)エム・テックは「ベトナム社会主義共和国への進出の経過と今後の展開」と題した資料を作成し、成果を喧伝している。ここに記された契約内容によれば、受注にあたって(株)エム・テックが契約を結ぶ相手は、ベトナム政府ではなくベトナムの現地企業になっている。更に実際の事業にあたっては、契約を結んだ現地企業の労働者を雇用することも決められている。政府との契約ではないため、工事費が超過した場合に追加の費用は支払われるのか。また、ベトナムの建設現場の安全・労務管理あるいはベトナム人の国民性など様々な問題が起こることは確実だ。ただでさえ海外での大規模な建設の受注には様々な問題がつきまとう。それを実績もなく国内でも問題を頻発させている(株)エム・テックが、無事に遂行できるとは考えがたい。

もしも副知事の FAX の内容を読み参加し損害を被る業者が発生した場合、埼玉県はどのような責任を取るのか。何故、エム・テックをベトナム政府に県を代表する建設業者として紹介したのか。

上田知事が旗を振り、それに繋がる関係機関、大型プロジェクトに手を下した(株)エム・テック、それら

無責任な連鎖の結果として「埼玉県によるエム・テックのスキーム(案)を(埼)建設業協会に発信する違い走りを担う」醜態を晒したのである。これらの責任は全て上田知事に帰するのだ。

### 何故、海外事業について(埼)建設業協会と県との 全体会議を開催しなかったのか…?

冒頭枠内の文章は公平・公正を旨とする行政の府が犯してはならぬ一業者(株 エム・テック)の作成したスキーム(案)を上田知事が塩川副知事に命じ、埼玉県建設業協会へ FAX 送信したものである。何故に埼玉県庁が(株)エム・テックの作成した資料を代行し、建設業協会に送信する必要があるのか。

本来、ベトナム政府と埼玉県業者との「高速道路に関する海外事業契約」である以上、仲介者としての立場である埼玉県は堂々と県民にこれらを公表することが県の使命であり、(埼)建設業協会を会議に招集し契約事項について意見を交換し、参加を希望する業者を甲乙なく選択するべきが、埼玉県の役割ではなかったか。大切であるべき県としての為すべき使命を省き、埼玉県を代表する建設業者としては心もとない(株)エム・テック作成のスキームを埼玉県が代行して(埼)建設業協会に送るなどの不届千万な行為(それも法令違反の疑いがあちこちに存在する内容の事業)をためらいもなく行って恥じない。これほど県民を愚弄する話はない。こうした重大な違反行為をなぜ上田知事は塩川副知事に命じたのかだ。何もわからない塩川副知事は、上田知事に命じられた通りに働いたことになる。

本来こうした業務は、建設関係に詳しい[平成 27 年 6 月定例会において、7 月 2 日の一般質問における諸井真英議員の質問に対して、知事答弁の中で岩崎副知事は、建設畑に詳しいと答えている。詳しい内容は後述]のどと、上田知事が岩崎副知事に(株)エム・テックとの対応を任せていた。なのに、当該の一件だけは塩川副知事に命じたことは全く解せない話だ。

岩崎副知事は、副知事就任以前には県土整備部長の職にあり、現在でも埼玉大学大学院理工学研究科客員教授を兼任する技術屋である。事情に通じているがゆえに、県が対応してはならぬ違反行為を実行すると身の危険を感じて体を躲したのではないかと推察される。いずれにしても一連のベトナムに絡む事情のために上田知事の命令には逆らえず全庁上げて、(株)エム・テックのために働いたことになる。もちろん、県庁職員として県民の信頼を得て業務を行っていることの誇りはあるはず。ゆえに県庁内部からは(株)エム・テックと癒着を続ける上田知事に対して怒りの声も渦巻いているという。立場上、逆らえない県職員たちも問題企業を後押しし続ける上田知事の姿を見て「まさか問題企業だということを知らないわけでもあるまい」と陰で冷笑しているという。もはや上田知事は庁内においては「裸の王様」という立場になりつつあるのが実情である。

上田知事の犯した(株)エム・テックとの許し難い癒着の実体は、本紙が 2015 年 6 月 23 日に発表した「上田清司知事とエム・テック代表」との裏の関係が透けて見える「大宮警察署等統合庁舎新築工事」の歪んだ入札の現状に連結するもので、これらを以て上田知事と(株)エム・テックの深い個人的関係が明らか証拠となって浮上するのである。

## 上田知事と(株)エム・テックとのベトナム進出行程

平成 24 年(2012)8 月 20 日～21 日

上田知事はベトナムを訪問し計画投資大臣と会談を行う。この時、上田知事はベトナム計画投資省の高官と会談し「経済交流に関する覚書」を締結する。

※上田知事が帰国して為すべき業務は、覚書に基づいて県内建設業協会に協力を求める会議を開催すべきであった。しかし上田知事は、(株)エム・テック一社のみをベトナム政府に推薦したものと判断できる。上田知事による支援体制が確立していなければ、エム・テック程度のランクでは斯様な情報の入手は困難であり、海外大型建設工事への参入は不可能である。

平成 25 年(2013)3 月

ホーチミン高速道路 PMU との覚書

(ホーチミン高速道路管理局 Son 局長と(株)エム・テックがベトナム交通省大臣承認のもと、BT 形式で(株)エム・テックを元請としての参加を認められる。)

※エム・テックは上田知事からの紹介により、ホーチミン高速道路建設工事の元請参加を認められたと推測できる。

平成 25 年(2013)8 月 19 日

成田発 10:00～ハノイ着 13:30

上田知事率いる「埼玉県アセアン訪問団」

松野浩史社長(株)エム・テック 向山照愛副社長(株)エム・テック

東窪利秋副社長(株)エム・テック 内田勝則理事長(株)エム・テック副社長) 他一行

15:00～タムロン・オプティカル視察。

16:30～ハノイ市共産党本部訪問。

共産党副委員長 上田埼玉県知事 交通運輸大臣 ウン・ホア県人民委員長

松野浩史社長(株)エム・テック 利根忠博理事長(埼玉経済同友会)

18:00～在ベトナム日本国大使との意見交換。

平成 25 年(2013)8 月 20 日

9:00～計画投資大臣と会談。

(上田清司埼玉県知事・計画投資大臣・(株)エム・テック松野社長 同席)

ベトナム政府内に「埼玉デスク」を設置。

(埼玉県が業務委託し、日本語ができる政府の職員が対応する。これから進出しようとする県内

企業や既に進出している企業からの問い合わせや要望を受け付ける。法律・税制・インフラの整備等に幅広く答える。）

10:30～ハノイ市政府訪問。(ハノイ市長・人民委員会委員長)

14:30～キャノン・エレクトロニクス・ベトナム視察。

18:00～ベトナム日系企業ネットワーク交流会。(約 120 名参加)

#### 平成 25 年(2013)8 月 21 日

ハノイ発 10:35～バンコク着 12:25

上田知事・内田勝則理事長(株)エム・テック副社長)同行。

15:00～ホンダ・オートモービル・タイランド視察。

19:30～在タイ日本国大使との意見交換。

#### 平成 25 年(2013)8 月 22 日

9:30～タイ工業大臣との会談、相互協力に関する覚書締結。

13:30～バンコク都庁訪問。(バンコク都知事)

14:30～タイ交通渋滞対策セミナー。

〈プレゼンテーション〉・日本信号(株)・アジアホンダモーター(株)

18:00～タイ日系企業ネットワーク交流会。(160 名参加)

#### 平成 25 年(2013)8 月 23 日

バンコク発 8:10～成田着 16:25

上田知事・内田勝則理事長(株)エム・テック副社長)帰国。

#### 平成 25 年(2013)10 月 15 日 (エム・テックの単独活動)

Long Ho 橋受注基本契約を締結。

(Khanh Hoa 県人民委員会 Nguyen Chien Thang 委員長と(株)エム・テックが契約)

(上田知事は 8 月の視察時、(株)エム・テックを同行しベトナムの政府高官・大臣などに紹介する。

Long Ho 橋工事に内諾を受ける。)

【現地で会談の様子と契約について新聞報道あり】

#### 平成 25 年(2013)10 月 19 日

ホーチミン高速道路の基本契約締結。

(代表投資家(Cuong Thinh Thi)と(株)エム・テックが契約)

※平成 27 年度 6 月定例会において、諸井議員の質問に平成 25 年 5 月に元国会議員との会食の席

で、元国会議員から「ベトナムで 1000 億の高速道路建設工事を受注した業者が埼玉県にいる」との話を聞き調べた云々…は、上田知事の全くの虚偽であり議会騙しである。当該工事は、平成 25 年 10 月 15 日 LongHo 橋、10 月 19 日ホーチミン高速道路建設工事等の契約を締結したものであり、それ以前に 1000 億の工事契約を果たしたなどの話はありません。

上田知事とエム・テックの密月の関係は平成 24 年以前からの交友関係が確立されていたのである。上田知事は平然と議会騙しを行ったのである。

平成 26 年(2014)2 月 14 日

(株)エム・テックによって「県内建設業者のプロジェクト参画スキーム(案)」が作成される。

平成 26 年(2014)2 月 18 日

「県内建設業者のプロジェクト参画スキーム(案)」を塩川副知事室から(埼)建設業協会へ FAX を送信する。



#### 上田知事の二枚舌…三枚舌…諸井議員を手玉に取った議会騙し

平成 27 年6月定例会 7月2日一般質問

諸井真英議員の質問に関する上田清司知事の答弁

知事はベトナムの政府高官にどのような形で、エム・テックを紹介したのか…なぜ企業なのかという質問であります。その企業（エム・テック）の話しを聞きましたのは、25 年春に官房長官などの閣僚を歴任された元国会議員と会食をしている時お話しを聞きました。

何やら埼玉県では橋梁の技術ではトップレベルの企業があって、ベトナム政府から 1000 億の高速道路の受注をしたそうではないか。というお話しを聞いたので、そういうニュースがあるなら聞こえてくる筈と思って副知事を始め調べていただきました。解らないという話で、しばらくは言っておりましたが、それが後程ご指摘のあった企業であることが解りました。

私は、もしベトナムの高速道路で埼玉県内の企業がそうしたことが可能になれば、これはすごいことだと、むしろ評価をして、もしそういう事例が出来れば、埼玉の建設業者の皆さん達には新しい道が開けるのではないかと、それがどの企業であれ、私はしっかり応援したいなという気持ちを持ちました。ただ、これは部局を横断しておりますし、私もこれをずっと見ている訳にはいきませんので、建設畑については岩崎副知事が詳しいので、岩崎副知事に統括的に面倒を見てもらうことにして、その都度岩崎副知事から報告を聞いておりました。



何やら、その 1000 億の高速道路の話は、どうも最終的には、ベトナム政府にもお金がないこととか、資金繰りの枠組みとか、そういうのがうまく出来ないということで、どうやら、一旦は無くなった話だと思っておりますが、新たに橋梁の関係で案件が 1 つ出ているという報告までは聞いています。従いまして、もともとこの企業は、東日本大震災の際、ベトナム政府が現地を視察しながら壊れていない軽微なキズで済んだ橋梁などをピックアップして、結果的にこの企業が相当な技術を持っているということで、ベトナム政府がむしろ一本釣りをしたと私は伺っております。

勿論、何らかの時に相当な売り込みもあったのかも知れませんが、そのように聞いております。いずれにしても、このことに関して 25 年の 3 月の時点でベトナム政府との工事受注に向けた話し合いをするという内容の覚書を結んでいるそうです。

こちらがこの事を知ったのは、少なくとも 25 年の 5 月だとか、そういう時期でございましたので、紹介するすべもない、いわんや協力関係ベトナム工業省との協定書を結んだり、政府高官等の最高幹部とお目に掛かったのは、それ以降でございますので一切この企業に対して政府並びに、働きかけたことは全くございません。

それから誉めてるんで癒着があるんじゃないかと、それは岩崎副知事を担当にして 1000 億の高速道路の受注が出来れば、これは埼玉県にとっても朗報と私は思っておりますので、どの企業であれ、そういうことが可能であれば応援したいと思っておりますので、何らかの形でそういう気持ちがある訳ですから、多分そういうことで誉めてくれるかも知れませんが、誉めてくれるからといって癒着があるとは全く関係のない話でありますし、先程お話しがあった会食をしたことがあるのかと質問がありましたが、一度もありません。献金については調べたことはありませんが、多分無いと思っております。

#### 上田知事の虚言症は病状が悪化しているのでは …

#### この態で県民のリーダーが務まるのか？

上田知事は、諸井議員の質問をぬけぬけと詭弁を以て躲している。この場所は神聖なる埼玉県議会平成 27 年 6 月定例会である。25 年の 5 月に元国会議員との会食の席において、元国会議員の発言であるかのように上田知事は諸井議員に答えているが正に虚言である。

この人物は虚言症ではないのかと疑わざるを得ない。精神内科の診断を仰ぐ必要がある。

エム・テックのベトナム高速道路建設工事は、平成 25 年 8 月の「埼玉県アセアン訪問団」による訪問を経て、平成 25 年 10 月 19 日にベトナムの代表投資家と基本契約を締結されたものだ。上田知事が平成 27 年 6 月定例会で諸井議員の質問に対して答弁した 25 年 5 月の時点では 1000 億円の高速道路建設工事受注がすでに既成の事実となっていることは、あり得ないのである。上田知事が咄嗟に、25 年の 5 月に元国会議員から聞いたと発言してしまったことから推察されるのは、上田知事はこの時に(株)エム・テックの関係者と会っていたのではないかということである。だとすれば、税金を使った「埼玉県アセアン

訪問団」もすべては、(株)エム・テックのためにお膳立てしていたことになる。埼玉県には、このような指名停止を受けるような企業ではなく、様々な優良企業が多く存在する。そうした企業を差し置いて(株)エム・テックのような会社をベトナム政府高官と繋ぐとは許しがたい癒着中の癒着ではないか。

ましてや、ベトナム政府が(株)エム・テックの問題を知れば、事態は単なる一企業や地方自治体の首長のスキャンダルを超えて国際問題になりかねない。近年、経済発展を遂げているベトナムには多くの日本企業が進出し、国情の違う中で必死に努力しながら現地に根付いて事業を発展させようと汗を流している。だが、(株)エム・テックのような企業が存在することで「日本人は信用できない」となれば、どんな事態がやってくるのか。上田知事は、もはや埼玉県だけにとどまらない問題になりつつあることを、認識できていないのか。あまりにも想像力が欠如しているというより他はない。

知事多選阻止の県民騙しの大法螺(おおぼら)を吹き上げながら、法螺吹き男が埼玉県知事四選を目指すなど埼玉県知事選は混沌として先が見えない。上田知事側から野党(自民党)対策としては、上田知事の盟友である佐久間元県議(自民党)を使い、自民党県議団の切り崩しを模索しているとの情報もある。佐久間元県議は自民党県議団の中で隠然とした権力を現在も保っていると云われている。

現在の自民党県議団がグラグラの弱腰であれば、上田知事に漁夫の利を浚われる恐れもある。なにしろ上田知事再選であれば、佐久間元議員の功績は大なりで凄い論功行賞が待ち受けているようだ。

ともかく自民党は出遅れている。自民党議員並びに自民党県議団がよほどに頑張らなければ、この知事選は勝てまい。埼玉県を良くするも悪くするも、県民は高みの見物であってはならない。真剣に埼玉県の行く末を展望し、自身を以て答えを出さなければならない。

県民騙しの多選男が、本当に自分たちの住む埼玉県のトップとしてふさわしいのか？埼玉県の行く末を子供達のためにも真剣に展望しよう。■



アセアン訪問 同行企業

	団体・企業名	参加者	訪問国		
			両方	ベトナム	タイ
1	埼玉経済同友会	利根忠博 代表幹事 (埼玉県立大学理事長)	○		
2	埼玉経済同友会	室久保 貞一 専務理事	○		
3	(株)埼玉りそな銀行	池田 一義 副社長	○		
4	(株)埼玉りそな銀行	田中 洋 県庁支店長	○		
5	三井住友海上火災保険(株)	福田 真人 執行役員 千葉埼玉本部長	○		
6	三井住友海上火災保険(株)	長尾 玄三 理事 埼玉支店長	○		
7	(株)武蔵野銀行	石川 誠 専務取締役	○		
8	(株)エム・テック	松野 浩史 代表取締役社長		○	
9	(株)エム・テック	向山 照愛 副社長		○	
10	(株)エム・テック	東窪 利秋 副社長	○		
11	埼玉県プレストレストコンクリート工業会	内田 勝則 理事長 (株)エムテック副社長		○	
12	埼玉県コンクリート製品組合	日下 鏞二 理事長 (柳沢コンクリート(株) 代表取締役社長)		○	
13	川口新郷工業団地協同組合	石川義明 理事長 (石川金属機工(株))			○
14	川口新郷工業団地協同組合	矢野剛 常務理事 (株)明光社			○
15	キヤノン電子株式会社	橋元 健 取締役副社長	○		
16	キヤノン電子株式会社	常藤 恭司 取締役 キヤノン・エレクトロニクス・ ベトナム社長		○	
17	(株)高脇基礎工事	門脇 佳典 社長		○	
18	長沼商事(株)	長沼 浩 代表取締役社長	○		
19	(株)ナガワ	菅井 賢志	○		
20	(株)ミートコンパニオン	植村 光一郎 常務執行役員			○
21	ユー・エム・シー・エレクトロニクス(株)	鷗沢健一 取締役常務執行役員		○	
22	ユー・エム・シー・エレクトロニクス(株)	高田昭人 取締役常務執行役員			○